

講演会

シヤンカラ & クリシュナムルティに学ぶ

人間

という幻影



目を細めて見上げるまばゆい夏の太陽。
 朝の食卓に置かれた肉厚のマグカップ。
 その傍で輝く銀色のスプーン。
 これらの確かにみえる存在も、これらを見つめる〈私〉という人間も、幻影ではない、と哲人シヤンカラはいう。
 実像と虚像。この二元性を産み出す幻影の法則を解明しなければ、〈私〉は迷いの中から抜け出られないのか。
 われわれ自身も、われわれの生きる世界も実体をもたないのなら、〈私〉はどこに生きているのか。

● 話すひと
 森本武

シヤンカラ | 700-750 ヒンドゥー教の哲学者。
 幻影から目を覚ます解脱への道を説いた。

J.クリシュナムルティ | 1895-1986 思想家、教育者。
 自己の実体の解明を阻害する思考を徹底的に問題視した。

2017 **6/10** (土)
 1:30PM~

京都・太秦 **古心庵** ここあん

時間：午後1時30分～3時30分 (1時開場)

参加費：800円 (K's Point 会員：500円)

予約：kspoint1998@yahoo.co.jp まで、ご氏名と人数を明記しお申込み下さい。

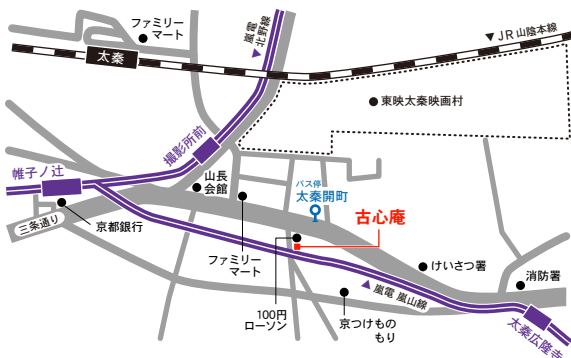
※当日のご参加も歓迎いたします。

主催：古心庵 京都市右京区太秦桂ヶ原町20-15

www.uzumasa.wixsite.com/kokoan

協賛：NPO K's Point www.kspoint.com

kspoint1998@yahoo.co.jp



- 京都市バス・京都バス 「太秦開町」より徒歩1分
- 嵐電 嵐山線 「帷子ノ辻 (かたびらのつじ)」・「太秦広隆寺」より徒歩5分 / 北野線 「撮影所前」より徒歩3分
- JR 「太秦」より徒歩10分

● 森本武 | NPO K's Point 代表。嵯峨美術大学学長。「頭脳の限界」と「個の解放」という課題を探索している。著書に、『苦勞の節約』、『思考は生(いのち)を知らない』、『日常を深く生きる』など。また、アナキー・タケの名で詩作をおこなっており『アナキー・タケ詩集1』の著作がある。

2017年4月22日に永眠されました古心庵のオーナー米永忠夫さんのご冥福をこころよりお祈り申し上げます。